

令和元年度 政策対話における意見等への対応

【お問い合わせ・意見等】

E-mail

建設部建築住宅課

kenchiku@pref.nagano.lg.jp

【建設部：『信州の多様な住まい方について』～信州らしい魅力的な住まい方とは～】

<趣旨>

人口減少・少子高齢化や空き家の増加等住まいを取り巻く環境が大きく変化する中、人々の価値観や住まい方・暮らし方も多様化しています。信州らしい多様で魅力的な住まい方とは何か？ 県民の皆様からアイデアやご意見をいただき、今後の住宅施策の参考とする。

政策対話当日の意見	意見等への対応（予算要求公表時）
<p>信州にある魅力的な資源・文化・環境とは</p> <ul style="list-style-type: none">・コミュニティとの「つながり」が比較的強い「おすそ分け」、「結」、「お互い様」の文化・都会（東京）とのちょうどよい距離感。遠くもなく近くもない、ほどほどの距離感・まちなかと自然との距離感がちょうどよい。仕事前や後にも自然が楽しめる。大自然の景観を楽しむことが日常的にできる・水がきれい、温泉が多い そこから派生する、水路利用、酒蔵、ワイナリー、レジャーの文化が豊富・郊外では渋滞がないが、車社会のため「まちなか」では渋滞が発生・文化財（善光寺、松本城、開智学校、海野宿等）が多い・地域ごとの伝統的な祭り、松本ぼんぼん等の市民参加型の祭りが多い・民芸、クラフト等が生活の身近にあり、クラフトフェア等の発表の場も多い・人口の減少で空き地・空き家が増えて、家と土地が余り、価格が安くなる	<p>○参加いただいた皆様から頂いた意見を参考に、令和2年度において、信州の魅力を活かした暮らしや住まい方のビジョンのとりまとめや、そのような暮らしや住まい方を体現されている事例の収集を通して、信州に「住まう」ことの魅力や可能性を広く県内外に情報発信してまいります。</p> <div data-bbox="1104 836 2069 935" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>【信州の多様な住まい方検討事業 4,489千円】</p><ul style="list-style-type: none">・豊かな自然や美しい景観、地域の歴史や文化に根ざした信州らしい魅力を発信</div>

政策対話当日の意見		意見等への対応（予算要求公表時）	
その魅力を活かした暮らしの姿とは	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で支え合いながら、血縁関係ではない、「おもいやり」をシェアする暮らし ・声が聞こえて、生活の香りがする程良く外部に開かれた、コミュニケーションのある暮らし ・自然やアクティビティを楽しみながら働くワーケーション ・週末、仕事・季節ごとに居住地を移す二地域・二拠点居住 ・生活の中に自然（用水、畑、日本アルプスの景色等）を取り込む ・自動運転等のICT技術の発展、カーシェア等による、車が無く便利な暮らし ・文化財や古民家を動態保存（使用しながら）していく先人の営みを感じる ・「特別な日」は文化資源を使用し、「日常」は高機能な住宅で過ごす ・路地にある空き家を使い、クラフト等の趣味を活かした小商いをする 	<p>○地域のコミュニティや歴史・文化、自然との関係性の中に信州の暮らしの豊かさなど、皆様から頂いた新たな知見を元に2030年（10年後）の暮らしの姿を見据え、信州の優れた点を活かした魅力的な住まい方の実践者にインタビューを行い、住まい方ビジョンとしてまとめ、令和2年度にホームページで公表し、信州の魅力を情報発信してまいります。</p> <div data-bbox="1104 411 2069 549" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【信州の多様な住まい方検討事業 4,489千円】（再掲）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・信州らしい多様な住まい方『(仮称)しあわせ信州“住まい方”ビジョン2030』を提示 </div>	
そんな暮らしに相応し「住まい」の姿とは	<ul style="list-style-type: none"> ・自然を無理に住まいに取込まなくても、ありのままの自然をそのまま活かす住まいが大切 ・若い人の感覚が変わり、信州で実現できるテレワークやワーケーション等の住まい方の魅力をアピール ・車移動でまちを捉えがち、徒歩移動の速度、スケールでまちを捉えた住まい方を提案 ・終の棲家、財産としての家ではない、新たな住まい方や家仕舞いの在り方を考えることが求められている ・暮らしまでは地域の文化が落とし込んでいるが、住まいを考えた時に落とし込む方法の検討 ・決まった家を持たずに身軽に移動ができる不動産シェア ・農山村地域ならではの土間・縁側を利用した地域に開かれたコミュニケーションハブの設置 ・まちの空きスペース（空き家、空き地）を活かした自宅以外の仕事、趣味、交流、小商い等のプライベート・パブリック半々のシェアスペースの検討 ・地域内循環を生むエコ住宅を推進し、世代間で継承して、永く使うことができるシステムの構築 	<p>○質の向上をはじめ、住まいの流通、使い方、働き方など少し先の未来（10年後）の暮らしの姿を見据え、信州の優れた点を活かした新たな暮らしや住まい方をビジョンとして取りまとめ、令和2年度にホームページで公表いたします。</p> <p>また、県民の皆様のライフステージとニーズに応じた、信州の総合的な情報発信をしてまいります。</p> <div data-bbox="1104 938 2069 1075" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【信州の多様な住まい方検討事業 4,489千円】（再掲）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県の施策へ反映するほか、県民の皆様と想いを共有し、これからの時代にふさわしい魅力的な信州の住まい方を実現したい方を支援 </div>	